

平成 28 年度佐潟公園ヨシ刈り等実施計画について（案）

1 目的

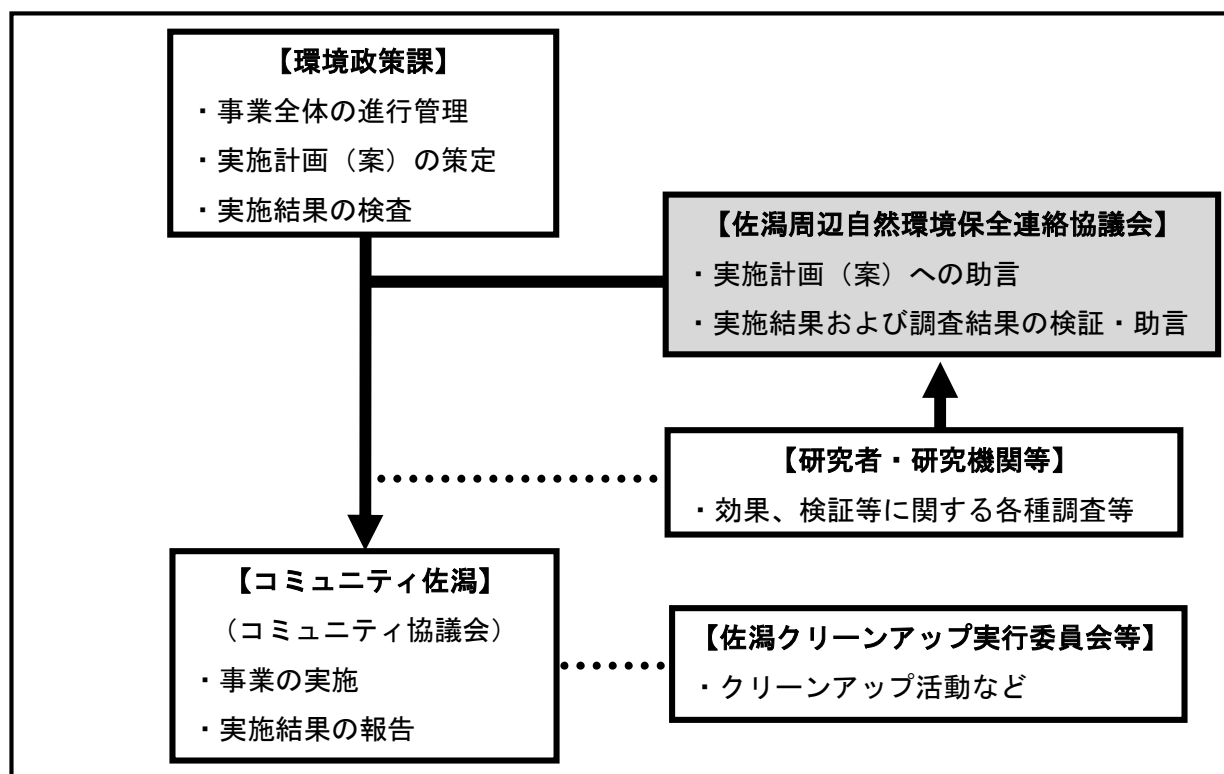
佐潟公園内のヨシ刈りにあたっては、以下の項目を目的として実施する。

- ・水質改善の手段として、水質浄化の働きをもつヨシの刈り取りを行い、植生を更新させることにより、窒素・リン等の栄養塩類を潟外に排出させる。
- ・浅水域を創出することで水際の生物多様性を確保する。
- ・ヨシを刈ることによって植生遷移を抑制するとともに乾燥化・陸地化を防ぐ。
- ・里潟として、ヨシ刈りを通して潟に積極的に関わる保全活動を展開する。
- ・ヨシを生物資源ととらえ、刈り取ったヨシの有効活用を検討する。

2 内容

- 平成 27 年度と同様に約 2ha の面積でヨシ刈りを実施（別紙図面参照）
- ヨシ刈りに隣接するスギ林の整備を実施
- ヨシ刈りは、平成 28 年 10 月 7～9 日に実施の予定

佐潟公園ヨシ刈り実施概念図



3 今後の課題等

- ヨシ刈りにあわせ、整備可能な園路や林地に手を加えることを検討
- 平成 27 年に復元した「ど」に関する植生の変化を継続的に調査する。

佐潟公園ヨシ刈りの経緯について

【平成 18 年度】

- 佐潟周辺自然環境保全連絡協議会が発足
 - ・協議会でヨシ刈りの実施に向けた協議を行う
 - ヨシ刈りに対する反対意見もあげられる

【平成 19～21 年度】

- ヨシ刈りを実施

- ・水質改善の一手段としてヨシ刈り(約 1.5ha)を実施
- ・ヨシ刈りに合わせ、流水・浅水域を好む動植物の生息環境を創出する「ど」を施工
- ・地元自治会が中心となり作業を実施

【平成 22 年度】

- 3年間継続したヨシ刈りを行わず、各種調査(土壌成分調査、ヨシ成分・生長量調査)を実施

- ・ヨシ成分・生長量調査の試算から、1.5haのヨシ刈りを実施することでN:71.3kg、P:7.2kgを潟外へ排出
- ・「ど」付近では、「ミズアオイ」、「スジヌマハリイ」等の希少種の生育確認
- ・土壌成分調査では、ヨシ刈り地、ヨシ刈り未実施地に明確な差は見られない。

【平成 23、24 年度】

- ヨシ刈りを再開
 - ・平成 23 年度以降も「ど」付近では、「ミズアオイ」、「スジヌマハリイ」、「ミズワラビ」など希少種の生育を確認

【平成 25 年度】

- 「佐潟周辺自然環境保全計画」2回目の改定
 - ・「協議会の了承を得ながら地元コミュニティ協議会の協力のもとヨシ刈り面積を拡大する」、「拡大にあたっては、モニタリング調査を実施し、希少植物の生育状況への影響を検証」と記載(第3章 具体的な取り組みから)

【平成 26 年度】

- ヨシ刈り面積の拡大を検討
 - ・ヨシ刈りの拡大に向けて、ヨシ刈りの目的を再整理
- 「ゾーニングを用いた保全計画」を検討
 - ・第 20 回佐潟周辺自然環境保全連絡協議会で素案を検討。今後さらに具体化の予定

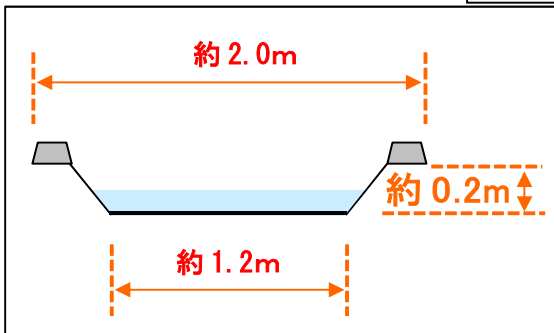
【平成 27 年度】

- ヨシ刈り面積を拡大
 - ・これまでの 1.5ha から約 2ha にヨシ刈りの面積を拡大
 - ・新規で「ど」(水路)の復元を行った。

【平成28年度ヨシ刈り実施計画図】 佐潟公園ヨシ刈り・「ど」の施工



【「ど」の基本寸法】



	H27 年度実績	H28 年度実施計画
ヨシ刈り面積	1.8038ha	1.9ha
「ど」整備面積	0.1006ha	0.1ha
計	1.904ha(約 2.0ha)	約 2.0ha